

私たちは日本で国家予算の1%も投じられない
女性と次世代の健康をテーマに研究から社会実
装までを一貫して手がける唯一のチームです

Since 2009

日本栄養士会
「84selection」受賞

人気育児雑誌6媒体が選ぶ
「ペアレンティングアワード2018」受賞
※2020ノミネート

Luvtelli. Tokyo&NewYork

-ラブテリ トーキョー&ニューヨーク-

活動紹介

Luvtelli ♥ Tokyo & New York

-ラブテリ トーキョー&ニューヨーク-

女性と子どもの健康の専門家チーム

13種の専門家が女性と子どもの健康増進を目的として集う
プロフェッショナルチーム

著書累計
34万部

代表理事

細川モモ

- 予防医療・栄養コンサルタント ● 一般社団法人ラブテリ代表理事
- 日経BPメディカル・ヘルスラボ「ヘルシーマザリングプロジェクト」アドバイザー
- 2011～2015 ミス・ユニバース・ジャパン オフィシャルトレーナー

10代後半での両親のガン闘病経験から予防医学に関心をもち、渡米。International Nutrition Supplement Adviserの資格を取得後、健康食品会社の開発・広報部に所属。米国で「DOHaD-生活習慣病胎児発症説-」「最初の1,000日」を知り、専門家から成る母子健康推進を目的としたチーム「ラブテリ トーキョー&ニューヨーク」を発足。11年以降、女子栄養大学・聖路加国際大学他と「卵巣年齢共同研究」「妊婦栄養共同研究」をはじめ、女性と次世代の健康に関する共同研究を複数手がけ、学会並びに論文発表を精力的に行う。14年に三菱地所(株)とともに働く女性の健康支援の一環として「まるのうち保健室」をオープンし、「働き女子1,000名白書」を発表。数々の試みがNHK「クローズアップ現代」、農林水産省「食育白書」、日経新聞他に取り上げられる。経済産業省×厚生労働省「データヘルス見本市」「女性健康週間」に“健康づくりのプロ”として登壇。生理用品No.1ブランド「ソフィ(ユニ・チャーム)」の生理管理アプリに開発協力を通じ、生理のビックデータ化による女性のQOL向上を目指している。

人気育児雑誌が選ぶ“子育てに良いコト部門”で『ペアレンティング・アワード2018』受賞。2020年に再ノミネート。日本栄養士会『84(エイヨー) selection』受賞。著書「成功する子は食べ物9割」(主婦の友社)「生理で知っておくべきこと」(日経BP)他



産婦人科医

精神科医

小児科医

母性内科医

農学博士

睡眠専門医

医学博士

薬剤師

管理栄養士

看護師

保健師

助産師

理学療法士

作業療法士

米国臨床栄養士

活動目的

妊娠前～妊娠中～産後の女性の健康支援を通じて
病気の温床となる低出生体重児を予防し
国の将来のGDPを11%も左右する「最初の1,000日」に貢献する

＼将来のリスク/
心臓疾患

＼将来のリスク/
うつ病

低出生体重児とは

＼将来のリスク/
2型糖尿病

＼将来のリスク/
骨粗しょう症

-15の人種のなかでいちばん小さい日本の赤ちゃん-
「DOHaD（生活習慣病胎児起源説）～将来の健康や特定の病気への
かかりやすさは胎児期や生後早期の環境を強く受ける」という学説が
あり、低出生体重児（出生体重2,500グラム未満の赤ちゃん）は将来的
に肥満や糖尿病、うつ病といった病気のリスクが高まるという報告が
ある。日本はOECD加盟国で低出生体重児の出生率がワースト1位で
あり、背景に妊娠適齢期世代の女性の痩せ問題があるとされている

＼将来への影響/
生涯所得

＼将来への栄養/
学力

最初の1,000日とは

＼将来への影響/
進学率

＼将来への影響/
退学率

-国の将来のGDPを11%変える「最初の1,000日」-
妊娠中から生後2才頃までに脳に十分な栄養が行き届くことと母親との
コミュニケーション（母親の精神安定）を受けられなかった子どもと受
けられた子どもでは、進学率や退学率、生涯所得にまで差が生じるこ
とを突き止めた世界的な研究。ユニセフでは「最初の1000日の保健栄養
プログラム」が掲げられており、この時期の栄養状態は国の将来のGDP
を最大で11%変えるといわれているが、日本の乳幼児の9人にひとり
が低出生体重児であり、1歳児の約30%が鉄欠乏性貧血である。



取り組むべき課題と現状

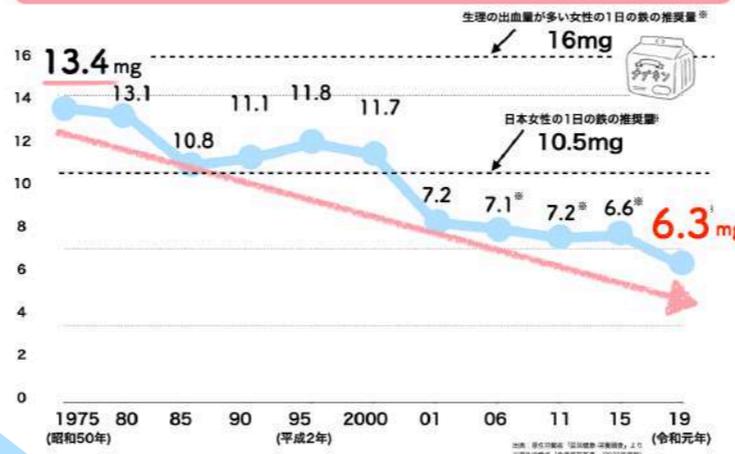
世界70カ国以上が主食への葉酸添加により二分脊椎症（先天性障害）や脳卒中を抑制
 世界50カ国以上が主食や調味料への鉄添加により鉄欠乏性貧血を抑制
 →日本には栄養添加政策がないため、栄養状態の格差が健康格差に

妊娠適齢期世代の 栄養状態の悪化

諸外国より一桁多い貧血の女性数

低出生体重児や乳児の脳の発達阻害因子となる乳幼児貧血を招く妊娠適齢期世代の貧血率は諸外国に比べて日本は一桁多い。鉄は食事で満たすことがもっとも困難な栄養素であることから、多くの国は主食や調味料への添加を国策として行なっている（右下参照）

鉄の摂取量が大幅に低下しています



＜栄養状態が悪化している理由＞

- 女性の社会進出にともなう食生活の悪化
- 慢性的な痩せ思考
- 妊娠/出産の回数低下により生涯で月経を経験する数が明治の女性は50回
⇒現代女性は459回※出血がそれだけ多い
- 食事に含まれる栄養価の含有量低下
- ダイエットと初経（初めての生理）の低年齢化

世界の女性の鉄欠乏・鉄欠乏性貧血の頻度

国名	対象年齢(歳)	鉄欠乏症貧血(%)	鉄欠乏(%)
米国	20~49	5	9~11
英国	18~44	6.6	20
スイス	女性全体	3	19
ノールウェー	20~55	3~4.7	15.1
デンマーク	18~30	2.6	18
フィンランド	20~50	5.8	20
オランダ	20~49	0~5	16
スペイン	19~35	3.9	10.7
トルコ	19~40	23.8	40.0
日本	20~49	19.8~26.6	29.2~48.4
	12~89	8.5	49.9
シンガポール	30~40	-	8~23
バングラデシュ	16~40	32~35	15~59

出典：鉄剤の適正使用による貧血治療指針 改訂（第2版）
 日本鉄バリエーション学会 治療指針作成委員会 編

©2021 Luxell Tokyo&NewYork

食品への鉄添加の現状

食品名	実施国
小麦粉:	米国、英国、カナダ、トルコ、 タイ、スリランカ、中南米22カ国
精製糖:	グアテマラ
とうもろこし粉:	ベネズエラ、メキシコ
鉄タブ、シロップ:	ブラジル
塩:	モロッコ
米:	フィリピン
ナム、チャパチ:	パキスタン、ネパール
醤油:	中国
魚醤:	ベトナム



出典：鉄剤の適正使用による貧血治療指針 改訂（第2版）
 日本鉄バリエーション学会 治療指針作成委員会 編

©2021 Luxell Tokyo&NewYork

＜次世代への負の連鎖＞

- 脳の成長に必須である鉄を中心とする栄養素の枯渇による発達阻害
- くる病やエナメル質形成不全を中心とする骨と歯の病気の増加（どちらも増加）
- 発達グレーゾーンの子どもの人口増加

2歳までに栄養改善を行なった男児の群は行わなかった男児の群と比較して賃金が46%高かった（グアテマラの研究）

事業内容

女性と子どもの健康増進を叶える 3本の事業柱

実態を明らかにする疫学研究と
生理・PMSのビックデータ構築による
ソーシャルサポート拡大を目的とした

研究

- ・女子栄養大学「妊婦栄養研究」
- ・順天堂大学「卵巣年齢共同研究」
- ・聖路加国際大学「こども貧血共同研究」
その他「こどもコロナ栄養調査」
「妊婦コロナ栄養調査」など

健康診断を受ける機会がない
女性と子どもに自分のからだについて
測って・知って・学ぶ機会を提供

啓蒙

“測って・知って・学ぶ”
大人の女性と親子のための「保健室」
各種セミナー、資格事業
無料母子手帳配布など

女性の子どもの健康増進の
選択肢拡大のための商品・サービス開発を
サポート

企業・自治体との 協業

- ・ユニ・チャーム株式会社 生理用品No.1ブランド
「ソフィ」生理管理アプリ開発
- ・女性向けヘム鉄サプリ「Revol」及び
「血力テスト」開発
- ・日経BP「働き女子ウェルネス・プログラム」開発

取引実績

取引実績掲載資料はお問い合わせください

広告換算効果
10億円

保健室

健康診断を受ける機会が乏しい女性と子どもに
「測って・知って・学ぶ」機会を全国で提供

健康診断を受けていたとしても結果と婦人科の関連に関するフィードバックはないことが一般的。
ラブテリの保健室では測った数値が示すリスクについて女性の健康と結びつけたアドバイスを行います。

測る 知る 学ぶ

オトナ女子のための 保健室誕生の理由



“測って・知って・学ぶ” 保健室の誕生

オトナ女子のための 保健室のコンセプト



Home 1
アンケート

基本属性や睡眠・食事・
活動量などのアンケート



Hokenshitsu 2
測る

・体組成計 ・ヘモグロビン他
※会場と協賛企業により様々



Hokenshitsu 3
知る

各種測定内容の説明や
保健室手帳を配布



Home 5 | New!
アプリについて

2021年、待望の保健室アプリが誕生！
保健室での測定結果を入力できる
だけでなく、健康診断の結果や、
ウェアラブルとの連携も。前回
値を記録することで変化を可
視化することができます。
さらに「7タイプ別体型判定」
「血力テスト」など、セルフ
チェック機能も。専門家からの
アドバイスも充実しています。



Hokenshitsu 4
学ぶ

各種測定内容の説明や
保健室手帳を配布



実装

自治体における女性と子どもの健康増進をサポート 乳幼児健診における日本初の採血不要のヘモグロビン測定導入も実現

日本では超少子高齢化の影響で1/4の自治体が母子健康の予算を十分に確保できていない。しかし、婚姻届（婚活事業）・妊婦健診・乳幼児健診・出生届といったタッチポイントがあり、リテラシーや所得

に関係なく全ての居住者に公平に機会提供できるのが自治体の強みであることから、コンテンツ・マンパワー・知見等を提供し、自治体における女性と母子の健康増進計画をサポートしている。

自治体との連携強化により 産学官連携モデルの創出



保育園・幼稚園・小学校での 成長サポート保健室&セミナー

子どもたちの栄養課題も深刻さを増しており、脳の中
枢神経の発達をうながす鉄が不足・欠乏している未就
学児は12%にも及ぶ（母親は5人に1人）

また、骨の歪曲（くる病）歩行困難をともなうO脚の
原因となるビタミンD欠乏も右肩上がりであり、これ
を予防するために最新機器を用いた出張保健室+保護
者・教職員向けのセミナーを全国に拡大している





測って・知って・学ぶ

おやこ ほけんしつ

一般社団法人ラブテリ

身長

体重

ヘモグロビン



こどもの健やかな成長を支えたい

母子の健康課題

こどもの健康課題

- ・ くる病（ビタミンD欠乏症）の増加
 - ・ 児童の骨折率の増加
 - ・ 発達障害児の増加
 - ・ 親世代と比較した体力の低下
 - ・ 10代男子の平均身長連続低下
- ※20～50代が170cm超に対して、平均が160cm台
- ・ 離乳期貧血と思春期貧血

WHY?

格差拡大やコロナにより状況が悪化するも、母子の人口減・予防にける予算などの問題でソーシャルサポートが不足。

母子の健康課題

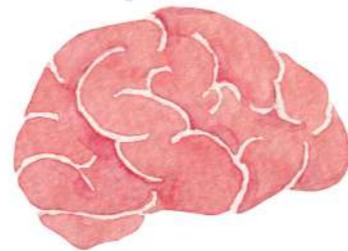
母親の健康課題

- ・ 高齢出産による負担
- ・ 産後うつ / 自殺
- ・ 貧血
- ・ 痩せ体型が多い



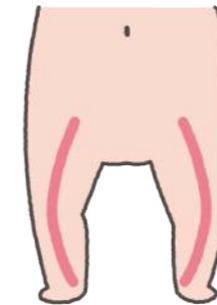
こどもたちの抱える「負」

母乳育児の乳児の30%が
鉄欠乏性貧血



- ⇒夜泣きや熱性痙攣と関連
- ⇒落ち着きのなさ、社会性のなさ
- ⇒運動機能・精神活動・認知機能の低下

母乳育児の乳児の72%が
ビタミンD欠乏



- ⇒骨が歪曲するくる病の増加
- ⇒歯の少歯化（歯並びの悪化）
- ⇒落ち着きのなさ

貧血は年齢ごとに増える結果に

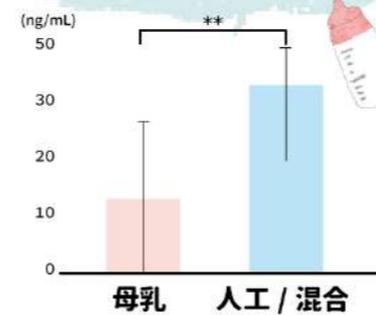
貧血リスクは2歳以降 増加傾向に

こどものヘモグロビン濃度の平均と基準値未満の割合



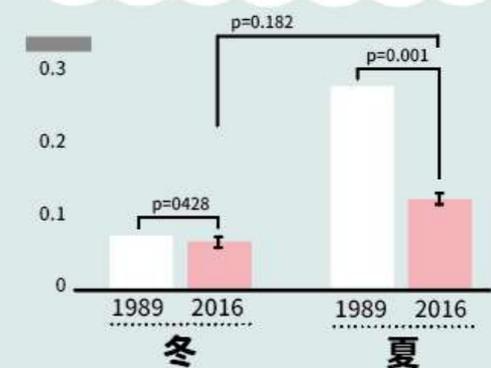
4) Yokoo M et al. Blood Hemoglobin Levels and Related Factors in Japanese Children. Poster presented at: The 8th Asian Congress of Dietetics; Aug 19, 2022; Yokohama, Japan.
5) 横尾 M. 日本人小児の血中ヘモグロビン濃度とその関連因子の検討. 第 81 回日本公衆衛生学会総会(山梨県甲府市)にてポスター発表. 2022年 10月 8日.
6) 日本人の食事摂取基準 2020 年版 / 令和元年 国民健康・栄養調査報告. 厚生労働省. 2020.

赤ちゃんの血中ビタミン D 濃度



**P<0.01 (Mann-Whitney U test)

母乳中のビタミン D の季節と経年変化



季節間比較: Student's t-検定、経年比較: 1サンプルの t-検定

ママたちの抱える「負」

5人にひとりが
鉄欠乏性貧血



産後痩せている20代ママの
70%が低骨密度



⇒ 妊娠初期と産褥期の貧血は産後うつリスクに
⇒ 出産時の貧血をその後検査してもらえない

⇒ 6%が骨粗しょう症
⇒ 産後に骨密度を測ってもらう機会がない

⇒ **そもそも栄養状態が悪いと妊娠率が低下するため
産後貧血や骨密度の低さは不妊・産後うつ・育児ストレス
介護リスクを高め、赤ちゃんに低栄養が受け継がれる負の連鎖**

大切なのは気づきの機会の提供

測って・知って・学ぶことでリスクを回避

∴ 現状 ∴

健康診断を受けていても、
初経や勉強・学力に影響する
体組成・貧血検査がない。

※自治体により異なる。



∴ 現状 ∴

主婦だから健診に行く
機会がない

※健康診断を受けていても
貧血項目は義務ではないため
検査項目にない会社は4割

ラブテリで提供可能な測定プログラム

- ・プロフェッショナル体組成計※9才から
- ・ヘモグロビン測定※生後6ヶ月から
- ・身長 / 体重 / 握力 / 骨密度測定 ※子供は条件あり



大切なのは専門家のサポート

最新の研究から健康・成長に関することをサポート

管理栄養士

貧血で引っかかっても、
離乳期から児童の食事まで
アドバイスします。

サポートの内容

- ・親御さんを対象にした個別カウンセリング
 - ・親御さんを対象にした集団セミナー
- ※教員対象も可。



医学博士

運動の専門家として、
成長と運動の両立を
サポートします。

サポートの内容

- ・骨を強くする運動などについてのアドバイス
 - ・初経と成長に関するアドバイス
- ※プログラムでの提供 / 集団セミナー

参加者満足度
99%



おやこ保健室プログラムの紹介

“測って・知って・学ぶ”がコンセプト

測る

身長・体重



測る

ヘモグロビン（貧血）測定 ※採血なし



知る
学ぶ

セミナー or カウンセリング ※資料のみ場合も

ラブテリ所属の専門家

- ・小児科医 ・産婦人科医 ・精神科医
- ・管理栄養士 ・薬剤師 ・保健師
- ・看護師 ・医学博士（スポーツ）
- ・助産師
- ・小児専門作業療法士（発達相談）



2016~2024 およこ保健室開催実績

働く女性向けの 保健室



子育て世帯向けの 保健室

梅田保健室

動員人数…約390名

大阪親子セミナー

動員人数…約190名

女性健康セミナー

動員人数…約60名

京都保健室

共催/ワコルスタグイホール

動員人数…約600名

京都およこ保健室

@京都レヴィスタ

京都およこセミナー

さっぽろ保健室

動員人数…約90名

さっぽろ女性健康セミナー

動員人数…約100名

神戸女性健康セミナー

動員人数…約70名

およこ保健室

@ぐんまマタニティ&ベビーフェスタ

2018/2019

せんだいおよこセミナー

動員人数…約70名

やまぐち保健室

動員人数…約100名

山陽小野田市 主催保健室

動員人数…約300名

まるのうち保健室

主催/三菱地所株式会社

動員人数…約2500名

およこ保健室

(ミハウス×明治安田生命)

新宿区主催およこセミナー

動員人数…約200名

文京区主催およこセミナー

動員人数…約300名 (令和元年より毎年実施(コロナ禍除))

福岡女性健康セミナー

動員人数…約200名

Hakatacco※子育てフェス

動員人数…約400名

有楽町マルイ保健室

動員人数…約450名

女性健康セミナー

動員人数…約180名

寺小屋フェス

動員人数…約180名

えひめ保健室

動員人数…約100名

名駅保健室

動員人数…約380名

およこ保健室

@HAPPY MAMAFESTA

2018/2019/2022/2023